

普及活動情勢報告（令和6年10月分）

幡多農業振興センター農業改良普及課

前作の振り返り～次作に向けて ～令和6園芸年度 JA高知県佐賀にら部会総会～



9月24日、JA佐賀出張所で、令和6園芸年度の総会が行われ、生産者19名、関係機関11名が出席しました。

会では、JAから前作の販売経過、そぐり作業の実績、部会役員の改選等の報告がありました。

農業改良普及課からは、親元就農促進に関する支援制度、農薬の適正使用、農福連携の取組事項等を紹介しました。

会の終了後、生産者から「娘が就農を検討している」といった個別の相談がありました。

今後も部会活動の支援や産地の維持に向けて、取り組んでいきます。

下ノ加江地区で集落営農塾を開催

～下ノ加江自然を守る会総会にて～



9月30日、土佐清水市下ノ加江地区の小方集会所で、多面的機能支払の活動組織である「下ノ加江自然を守る会」の総会が行われました。

農業改良普及課は、総会の前に市役所と合同で集落営農塾を開催し、13名の出席者に対して、土佐清水市の農業の現状や集落営農の取組を紹介しました。

出席者からは、「既存法人の経営収支はどうか？」「倉庫なども事業の対象になるのか？」などの質問がありました。

今後は集落営農に関心がある人を把握するため、下ノ加江地区の住民に対してアンケートを実施する予定です。

剪定でレモンの良い花咲かそう！

～黒潮アドバンス施設レモン剪定講習会～



10月4日、施設レモンの生産者グループ「黒潮アドバンス」のメンバーが四万十市のは場で剪定講習会を開催し、生産者10名が参加しました。

農業改良普及課は、レモンの整枝・剪定・誘引方法や問題となった病虫害・生理障害などについて情報提供を行いました。

生産者からは、「残す母枝はどれ？」「誘引の仕方は？」「間引き剪定と切り返し剪定の位置は？」などの質問がありました。

今後も現地検討会や個別巡回等で情報提供を行い、施設レモンの栽培技術の向上を目指し支援していきます。

うまく刈れるかな?!

～四万十市立具同小学校の体験授業～



10月7日、四万十市入田のほ場で、具同小学校の総合学習の一環として、6月に田植えをした水稻（ヒノヒカリ）の稲刈りを行い、5年生約80名が参加しました。

当日は、栽培管理を行ってきた集落営農法人「(農)入田村」がコンバインで稲刈りの実演を行い、農業改良普及課は、稲の手刈りの仕方を説明しました。

児童らは初めての体験で、苦戦しながらも稲を一株ずつ丁寧に刈り取り、「お米が不足しているこの時に、お米を作る大変さが分かった」と話していました。

今後も小学校の総合授業を通して、食農教育を支援していきます。

今年の単価はどうかなあ…

～JA中村支所黄玉ユズ目慣らし会～



10月8日、JA中村支所の選果場で、カラーリング処理を行ったユズの目慣らし会が行われ、生産者が7名出席しました。

会では、JAから青果、加工玉の規格と受入日について説明があり、その後、実際にユズのサンプルを見ながら等級の再確認を行いました。

農業改良普及課からは、夏の高温により果皮の老化が進んでいるため適期収穫に努めること、耕作放棄地からのハナアザミウマの飛来対策として農薬散布とセイタカアワダチソウなどの雑草除去を指導しました。参加した生産者は、害虫対策について熱心にメモを取っていました。

今後も適期収穫を呼びかけ、品質・収量の向上を目指し支援していきます。